

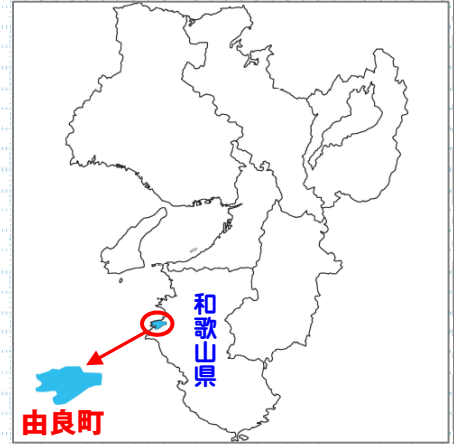


総務省

和歌山県由良町で災害時における 情報伝達の実証実験を実施

近畿総合通信局は、平成29年6月4日（日）、和歌山県由良町及びNTTみらいネット研究所と共同で、南海トラフ地震等で災害対策本部を設置する町役場が被災した場合を想定し、本部の代替施設に指定されている「由良町立ゆらこども園」において、関係各所及び防災拠点との間の情報伝達・収集に係る実証実験を実施しました。

当日は、迅速かつ容易に通信手段の確保が可能なトランクケース型通信装置「ICTユニット」を活用し、職員が持つスマートフォンと連携させる実験を実施するなど、次の項目を検証しました。



通話確認を行う由良町職員

- ①災害対策本部と避難所等との間の双方向通信
- ②Wi-Fi通信による災害対策本部内の職員間の通話
- ③由良町職員へのメールによる一斉・グループ伝達
- ④ネット接続のない状況でのGIS（地理情報システム）を活用した被害情報収集
- ⑤避難者情報の収集・集約

各実験では、由良町職員及び自主防災会の皆さんに参加して頂き、通話確認や情報収集の検証を行うことができました。

実証実験の結果については、管内自治体の防災整備の参考に、今後提供を予定しています。

避難者登録の操作方法の説明を受ける自主防災会の皆さん →



平成29年度情報通信の安心安全な利用のための標語

近畿総合通信局長賞

大丈夫？ 世界が見てるよ SNS

（神戸市立真野小学校／兵庫県）

編集・発行

近畿総合通信局
総務部総務課
企画広報室

〒540 -8795

大阪市中央区大手前1-5-44

大阪合同庁舎第1号館

TEL : 06(6942)8508

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/>



総務省

「防災情報通信セミナー2017春夏」を開催

近畿総合通信局は、平成29年5月30日、大阪市内のホテルにおいて近畿地方非常通信協議会、近畿情報通信協議会との共催で「防災情報通信セミナー2017春夏」を開催し、防災関係者230名が出席しました。

セミナーでは、講演会と展示会が行われ、このうち1つめの講演では、「非常災害時における情報伝達手段の確保について」と題して、総務省総合通信基盤局電波部重要無線室長の近藤玲子（こんどう れいこ）氏が、各自治体における災害情報伝達手段の整備状況、大規模災害を想定した非常通信訓練の実施状況やその具体例、総務省の災害対策用機器の貸出状況などを紹介されました。

← 講演する近藤氏 →



2つめの講演では、「ドローンとGIS等を活用した防災・減災の取組」と題して、一般社団法人UAS多用推進技術会事務局長兼理事の眞野方仁（まの まさひと）氏が、ドローンの飛行データ、被害情報データをGISのデータと連携させることによる防災・減災への運用イメージ、運用スキームとルール、課題などについて紹介されました。

← 講演する眞野氏

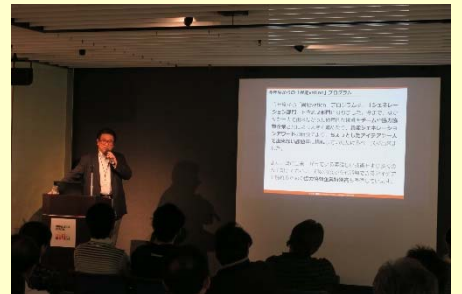
また、展示会では、非常災害時の通信手段の確保とGISを活用した防災・減災を目的とした展示が行われ、来場者は展示物等について熱心に質問し、説明に耳を傾けていました。

平成29年度「異能(Inno)vation」プログラム 公募説明会を開催

平成29年6月17日、大阪市内において、総務省の戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）平成29年度独創的な人向け特別枠「異能(Inno)vation」プログラムの公募説明会が開催され、31名が参加しました。

「異能(Inno)vation」プログラムは、日々新しい技術や発想が誕生しているICT分野において、破壊的な地球規模の価値を創造するような技術課題に挑戦する方を応援するプログラムで、平成29年度からは、「破壊的な技術課題への挑戦」部門に加え、新しいアイデア・とがった技術・実現したい課題を表彰する「ジェネレーション・アワード」部門を創設しています。

説明会では、業務実施機関である株式会社角川アスキー総合研究所異能vation事務局の福田正（ふくだ ただし）事務局長が、公募内容や過去の採択実績などを説明し、参加者へ応募を呼びかけました。



説明する福田氏